

事務事業名	老人いこいの広場管理事業 春江			事業コード	03010510101
所管部署	福祉課（春江支所）	電話	51-9404	記入者名	水嶋 雅江
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	高齢者福祉の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	広場の樹木剪定、除草
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市老人憩いの広場条例・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	高齢者に対しスポーツ活動や憩いの場を提供することで、高齢者の健康促進と介護予防を図ります。				
	【利用内容】 ・テートボール場の利用 ・散歩等における休憩場所 【維持管理】 ・土地の借り上げ料 ・上下水道料 ・広場の樹木管理・除草（坂井市シルバー人材センターへの委託） ・トイレ清掃（坂井市シルバー人材センターへの委託）				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	このまま現状を維持し、事業推進してまいります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	利用者が利用しやすいように公園の樹木の管理、排水溝清掃を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	いこいの広場の管理		
目標年度 平成32 年度			
取組状況	利用者の要望に耳を傾け、必要な改善を検討していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉施設費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	286 千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	30 千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	3 千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	771 千円	千円	千円	千円			
	事業費合計	千円	1,090 千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.21 人	1,493 千円	0.20 人	1,406 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.21 人	1,493 千円	0.20 人	1,406 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	1,493 千円	2,496 千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		1,493 千円	2,496 千円	千円	千円					
財源合計	1,493 千円	2,496 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成32	年度を目安
判断事由	このまま継続して、適正な維持管理に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成32	年度を目安
判断事由	公共性があるため、実施主体は市が妥当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成32	年度を目安
判断事由	現状の予算を最大限に活用します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成32	年度を目安
判断事由	現状の人員で効率よく事業を進めます。			
すぐに行ける改善提案	利用者のニーズに応えた維持管理に努めます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	他の公園や施設と合わせて管理する等、効率の良い管理運営を検討していきます。			
目標年度 平成32 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
	利用者数（延年間）	7 人/日*200日	人	目標値				
				実績値	1400	1400	1400	1400
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
実績値								

【事業の成果】